

ビジョン  
未来が、いま、うまれる

山を守る男は、未来を紡ぐ女と出会い  
過去から迷いこんだ少年を抱きしめた。



ジュリエット・ビノシュ 永瀬正敏

岩田剛典 美波 森山未来 田中泯(特別出演)・夏木マリ

監督・脚本 河瀬直美



6.8 (fri)



# 『あん』『光』(2017)の河瀬直美監督が放つ渾身の一作

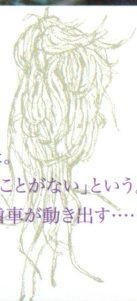
河瀬直美監督、ジュリエット・ビノシュ、永瀬正敏。世界で活躍する3人の映画人の運命的な出会いが、新たな傑作を誕生させた。

きっかけは、2017年5月の「第70回カンヌ国際映画祭」だった。河瀬監督が公式ディナーで、本作のプロデューサーであるマリアン・スロットと同席となり、『イングリッシュ・ペイシエント』でアカデミー賞に輝く仏名女優ビノシュを引き合わせたのだ。互いにリスペクトしていた2人は、国籍や言語の違いを越え、意気投合。ビノシュが河瀬監督の次回作の出演を熱望したことから、翌6月には制作が決定した。河瀬監督はすぐさま、オリジナル脚本を執筆。ビノシュの相手役には、『あん』『光』でタッグを組んだ永瀬が決まり、9月初旬にクランクイン。夏パートの前半、秋パートの後半に分け、12月初旬にクランクアップした。さらなる深化、進化を見せる河瀬監督の最新作に世界が注目している。



ひとがひととして、  
この母なる大地で生きることと真正面から向き合う、いのちの物語。

夏、緑が青々と茂る奈良の神秘的な森。紀行文を執筆しているフランスの女性エッセイスト・ジャンヌは、通訳兼アシスタントの花とやってきた。彼女は、葉草の一種で幻の植物“Vision”を探している。旅の途中、森で暮らす山守の無口な男・智と出会うが、智も「聞いたことがない」という。やがて、言葉や文化の壁を越えて、心を通わせていく2人。季節は流れ、森が赤く色づく秋。智のもとに、山守の若者・鈴が姿を見せ、運命の機軸が動き出す……。ジャンヌがこの地を訪れた本当の理由とは何か？山とともに生きる智が見た未来（ビジョン）とは？



ジュリエット・ビノシュ 永瀬正敏

岩田剛典 美波 森山未來 田中泯 (特別出演)・夏木マリ

監督・脚本 河瀬直美

製作:LDH JAPAN SLOT MACHINE 組画

エグゼクティブプロデューサー:EXILE HIRO / プロデューサー:宮崎聡 Marianne Slot 河瀬直美

撮影:百々新 / 照明:太田康裕 / 録音:Roman Dymny 森英司 / 美術:塩川節子 / 編集:Francois Gedigier 渋谷陽一 / 音楽:小曾根真

企画協力:小竹正人 / 制作プロダクション:組画 / 配給:LDH PICTURES

©2018 "Vision" LDH JAPAN, SLOT MACHINE, KUMIE INC.

<http://vision-movie.jp/>

6.8(fri) ROADSHOW